

屋形船

市川茂子

ホテルより真向いに見る箱根山一夜に降りし雪の花咲く

窓近く大島桜の咲きいるを夕べの雪は花房被う

目覚むれば飲食のこと先ず思う斯くなるものか老いなりわい

愛着の残る品じな片付けてしばし空しく思い出さぐる

悲しみのあるやに聞こゆる猫のこえ春雨しげき夕べの庭に

この季を待ち居しばかり花ばなの自ずから咲き華やぐ四月

とぎれなく咲く花の色かたち個性をさらし風に吹かるる

雑草の生え出るままに見過ごせば小花が咲きて抜くをためらう

屋形船のガイドに左右の花眺めスカイツリーを見つつ昼餉す

橋いくつくぐりて巡る屋形船 隅田川辺の桜盛りに